

キャラクター名
獅沢弦都(ししざわ・げんと)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス	ワークス	ヒーローA	カヴァー	ヒーロー
	キュマイラ				
オプション	エグザイル	年齢	38	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	破壊	初期侵食率	33%
出自	天涯孤独	経験	ヴィラン被害者	邂逅	貸し

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	38
肉体	4	1	3			8	行動値	4
感覚	1		0			1	(非装備時)	4
精神	2		0			2	戦闘移動	9
社会	1		0			1	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	15		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:ヒーロー	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:UGN	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ファイナルアタックライド	白兵	13r+15		24		
ファイナルアタックライド(100↑)	白兵	17r+15		29		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:ヒーローマニア	
コネ:UGN幹部	
カテゴリ:ベテラン	
ヒーローズクロス	
ライドブッカー(アクセサリ)	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
継承種	P	N		
両親	P 遺志	N 悔悟		
志堂ツカサ	P 遺志	N 劣等感		
霧谷雄吾	P 誠意	N 食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ハンティングスタイル	1	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 戦闘移動、離脱 封鎖影響なし								
形状変化:剛	4	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果: シーン間、攻撃力+『Lv×2』								
原初の青:インフィニティウェポン	1	4	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 攻撃力:+『Lv+7』の武器								
Cレイト:エグザイル	2	2	メジャー					
効果: C値を-Lv								
オールレンジ	4	2	メジャー	武器		対決		
効果: 判定ダイス+Lv								
原初の赤:急所狙い	4	3	メジャー	武器		対決		
効果: 攻撃力+『Lv×2』								
混色の氾濫	2	2	メジャー		範囲(選択)			
効果: 対象→範囲(選択)1シナLv回								
鬼の一撃	4	2	メジャー	武器		対決		
効果: ガード時の相手に、+『Lv×5』ダメージ								
マイトフォーサムワン	1	1d10	イニシアチブ	至近	自身	自動	Dロイス	
効果: メインプロセスを行なう。未行動でも行動済みならず、行動済みでも使用可能								
擬態の仮面	1		メジャー	至近	自身	自動		
効果: カメンライド、フォームライド								
イージーフレイカー:テクスチャーチェンジ	1		メジャー	至近	自身	自動		
効果: アイテムのモーフィング								

見た目は、物静かだが冷徹な瞳をしているように見える。普段も話しかけない限り口数もあまり多くなく、全体的に近寄りたいたい印象を受けるだろう。だが、そんな外見や印象とは裏腹に人を守ることに強い熱意と、誰かを失うことの悲しみを心のうちに秘めており、意外にも性善説的な人物である。

今の紹介からは想像できないであろうが、それでも彼の幼い頃はヒーローをこよなく愛する腕白で純粋な少年であった。テレビやメディア媒体に映るヒーローに少年は憧れ、いつしか自身もヒーローを志すようになる。

しかし、両親と共にヴィランの襲撃を受ける。自らを逃がそうとする両親を守るために、少年は無謀にもそのヴィランに立ち向かったが、力に及ばずあえなく敗北。目の前で両親が蹂躪される中、自らも薄れ行く意識の中で少年はそれを見つめることしかできなかった。

愛する両親を失い幼くして天涯孤独の身となり、彼らの死をきっかけに少年は大切なものを奪ったヴィランと助けに来なかったヒーローを憎むようになる。やがてその恨みはオーヴァードそのものに向けられるも、皮肉にも自らがそのオーヴァードに覚醒していることに気がつき、少年は絶望する。

だがその時、とあるヴィランが自らよりも幼い少女を襲っているところに遭遇する。

少年は、かつての自分のようにヴィランに襲われている目の前の彼女を助けるか、傷ついた自らの心身を守るために逃げるのか迷った。

だが、答えを出す前に自らの身体は動き出した。

彼の心の片隅にあったヒーローへの憧れと思いがそうさせた。

目の前の少女を守るために。かつて両親を目の前で失った自分と同じ思いをさせないために。